# 高度技術研修(数值制御(NC)加工)受講生募集!

岩手県では戦略産業等を共通して支えるプラスチック製品製造業や金属製品製造業など基盤技術企業群の技術力・開発力の強化を支援し、戦略産業等と一体となったサプライ遅延全体の強化・拡大及び付加価値創造を促進することにより、地域産業の競争力強化と長期安定的な雇用創出に繋げていくため、基盤技術企業に向けた技術研修として、一関工業高等専門学校(一関高専)の機械実習工場を会場に、機械工学科教員と技術室職員を講師に「高度技術研修(数値制御(NC)加工)」を開催します。

本講座は、機械加工の現場で主力となっている数値制御(NC)の原理・基礎を身につけて頂くことにより、NC機器を使いこなす技術力を向上させ、難易度の高い加工技術を習得する基礎づくりを目的としております。講座内容は当センター主催の企業従業員向「フライス盤・旋盤加工技術講座」「技能検定機械加工[普通旋盤][フライス盤][NC旋盤][NCフライス盤]資格取得講座」と一関高専の「機械加工実習」等の事業経験を生かして、構築しました。

本事業は3ヶ年計画ですので、次年度には別の講座を受講頂くことで扱える機械を増やす事が出来ます。

#### 研修日程

平成29年3月18日(土)、19日(日)、20日(月・祝)、21日(火) 4日間

研修時間 8:30~17:00 (昼休み1時間)

4日間で30時間の研修となります。

研修会場

一関工業高等専門学校 機械実習工場

講師

一関工業高等専門学校 教職員

募集対象者

岩手県内企業で就業している人 または岩手県内企業に就職を希望する人

募集人員

各講座6名(各講座, 2名以上で開講を予定)

受講料

## 無料

#### 研修内容

※ いずれかの1つの講座を選択しての受講となります。





NC旋盤による実習

講座	使 用 機 械	定員	内容
N C 旋盤	DMG森精機NLX 2000Y 制御装置:三菱M730BM	6名	・NCプログラムについて (座学)
N C フライス盤	イワシタNV2 制御装置:FANUC 20i-FB	6名	・材料の切り出し(実習) ・材料の粗取り(外径出し)(実習)
ワイヤー放電加工機 YAGレーザー加工機			<ul><li>NCプログラムの作成 (座学・実習)</li><li>NC工作機械の設定 (実習)</li><li>ワーク実加工 (実習)</li></ul>

※作業帽・保護メガネをお持ちの方は持参してください(実習の際、着用します)。

申込期限

平成29年3月10日(金)

※先着順で、定員になり次第締め切ります。

申込方法

裏面の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、ファックスにて下記へお申し込みください。 当センターホームページからも「受講申込書」はダウンロードできます。

申込先・問合せ先

(公財) 岩手県南技術研究センター 担当:岩渕 〒021-0902 一関市萩荘字高梨南方114番地1

電話:0191-24-4688 FAX:0191-24-4689 E-mail: seminar@sirc.or.jp URL http://www.sirc.or.jp

主催: 公益財団法人 岩手県南技術研究センター

共催: 独立行政法人 国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校

### (公財)岩手県南技術研究センター 行 FAX:0191-24-4689 seminar@sirc.or.jp

(平成28年度 高付加価値型ものづくり技術振興事業/厚生労働省補助事業)

### 高度技術研修(数值制御(NC)加工) 受講申込書

平成2 年 月 日

次のことに同意し、下表のとおり受講を申し込みます。

- ○受講に関する連絡等に使用します。 ○受講後、講座内容についてアンケートをお願いする場合があります。
- 〇この情報は目的以外に使用することはありません。
- ○収集したデータ処理などのため外部に委託することはありません。

受 講 講 座 (希望される講座の口を塗りつぶしてください)		<ul><li>□ NC旋盤</li><li>□ NCフライス盤</li><li>□ ワイヤー放電加工機&amp;YAGレーザー加工機</li></ul>			
(ふりがな) 氏名		(	)		
年齢	性別 (どちらかにO)	歳	男 • 女		
会 社 名					
住 所					
電話番号					
ファックス番号					
メールアドレス		□ 県南	支研からの人材育成事業のお知らせメールが不要の方はレ		
※今回の高度技術研修(数値制御(NC)加工)で学びたいことがありましたらご記入ください。					

※作業帽・保護メガネをお持ちの方は持参してください(実習の際、着用します)。

(公財) 岩手県南技術研究センターは、地域企業の 「ものづくり」・「技術開発」・「共同研究」を応援します。